



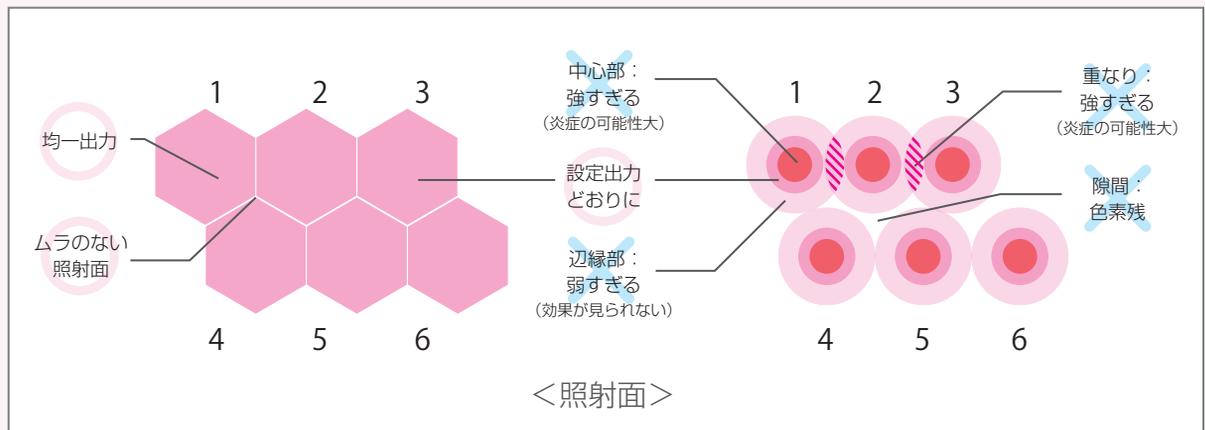
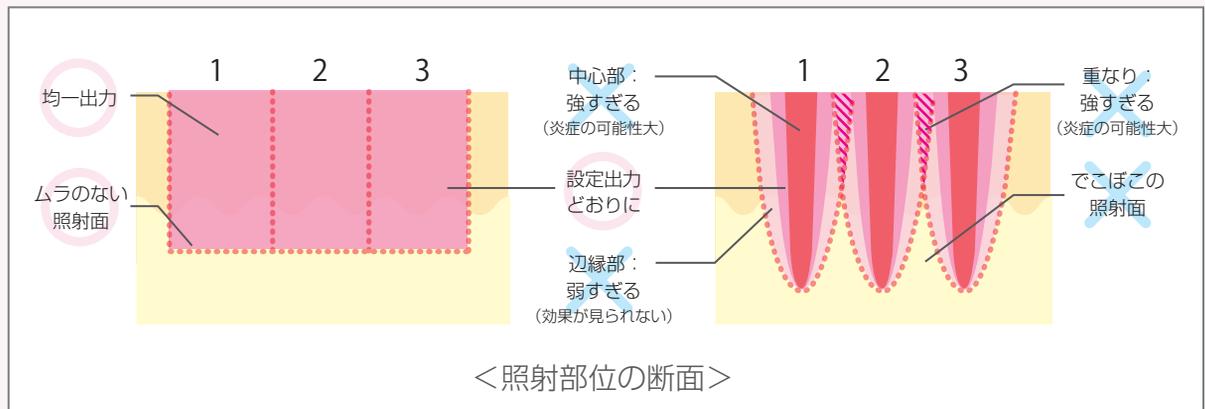
創面が凸凹の創傷は一般的に治癒が遅く、痂皮化まで時間がかかり、炎症が強く起こる傾向があります。そのため、感染や炎症後色素沈着のリスクが上がる可能性があります。(図2-照射部位の断面 照射面)

また、中途半端に弱いレーザー光が当たる辺縁部は、刺激されたメラノサイトが活性化し色素過剰になることもあります。病変中心部の色調が改善しても、辺縁部にリング状に色素沈着が残ってしまい、いたちごっこのような治療を続けた経験をお持ちの先生方もいらっしゃいます。(図3-レーザー治療で避けたいリスク)

【図2】

THE RUBY の【トップハット型】

【ガウシアン型】



【図3】

強い炎症



色素脱失



<レーザー治療で避けたいリスク>